

ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーについて

■会社およびグループのご紹介

ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー（以下「ウエルントン」）は、米国マサチューセッツ州ボストンに本拠を置く独立系投資運用会社です。その起源は1928年に遡るアメリカでも歴史のある運用会社の一つです。自社ブランドでの投信販売は行わずに、純粋に資産運用業務のみに専念しています。ウエルントン・マネージメント・グループ全体でのその運用資産額は約5,056億米ドル（約45兆円）におよび、アメリカでも大手の一角を担っています。ウエルントンは、40カ国1,600以上の機関投資家を顧客に持ち、質の高い運用サービスをグローバルに提供しています。

※2009年9月30日現在（換算レート：1ドル＝89.535円）



出所：ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

■運用哲学

超過収益を獲得できると考える背景について、ウエルントンでは、様々な市場環境に対応できる単一の運用スタイルはなく、長期安定的な超過収益を獲得していくためには、マルチ戦略型運用が有効であると考えます。

それに対するウエルントンの対応として以下の3点を実施しています。

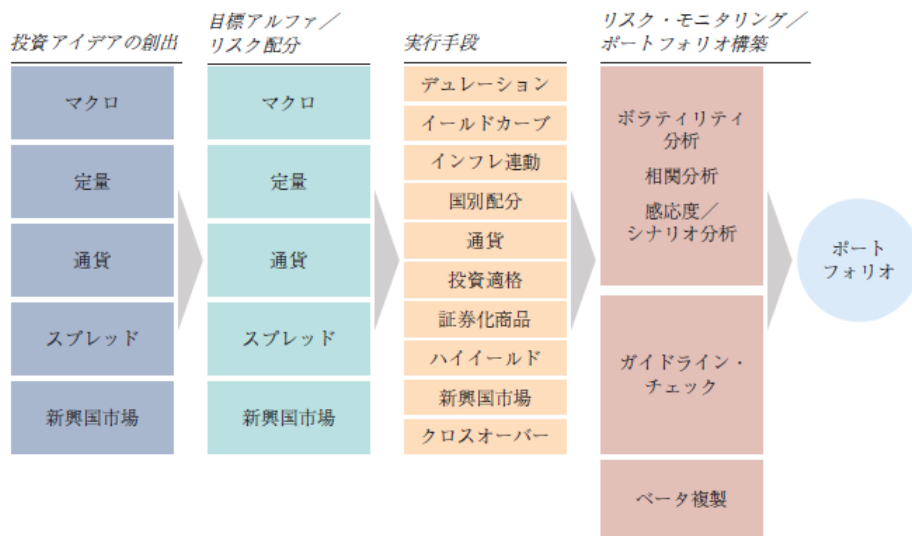
- 1 5つの独立したチームによる専門分野に特化した運用体制を構築
- 2 アルファ源泉の適切な配分
- 3 多面的なリスク管理の実践

■運用スタイル

ウエルントンでは、チーム運用アプローチを採用し、マクロ、定量、スプレッド、通貨および新興国市場への機動的な投資、といった5つのアルファ源泉に配分を行なうことで、安定した超過収益の獲得を目指します。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」の商品内容を補足すること等を目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料であり、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。

■運用プロセス



出所：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

●マクロ

トップダウンの経済構造、景気指標、金融市場等のファンダメンタルズ分析に基づき、バリュエーション、リスク、テクニカル等の要因を考慮して、市場に折込済みの要因と独自の分析結果の乖離を定性的に見極め、リスク効率の最適な方法で戦略を実行します。

●定量

信用力、流動性共に最上位にある先進6ヶ国の債券先物スプレッド取引を行ないます。低相関の約200のモデルに約500のデータを1日4回更新しシグナルを求め、7つの評価軸に基づき、成績上位4分の1にリスクを配分し、リターンを追求します。

●スプレッド

株式との協働を活かしたボトムアップの銘柄選択と、マクロ・トップダウンの分析を特色とし、24名のクレジット・アナリストと48名のグローバル産業アナリストが銘柄毎に広く深く調査・分析を担っています。更に、本アプローチは、投資適格社債、ハイイールド債、新興国市場債券、証券化商品等に特化した債券グループとの協働のメリットを享受しています。

●通貨

定性と定量分析の両方を統合したアプローチです。観点や時間軸の異なるモメンタム、循環、構造、バリュエーション等を独立の調査・分析として取扱い、戦略間の低相関を狙います。ECB や英国中央銀行出身者のストラテジストと定量分析の専門家を擁し、ドライバーの分散を図ります。

●新興国市場

定量／定性、トップダウン／ボトムアップなど異なる観点から、国別配分、社債、通貨、現地通貨建て債券に関して調査・分析します。新興国のうち、信用力・流動性に優れた国々の債券市場の発展過程で見られる取引の非効率性の裁定を、債券先物スプレッド、スワップ取引で狙います。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」の商品内容を補足すること等を目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料であり、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。